



高校生のみんなへ！

# 介護の仕事を 一緒にやろう



あなたの周りの働く人は 皆主役プロジェクト

遠野・釜石エリア 介護の仕事編



## ずっと笑顔でいられる 生き方を提案する

介護の仕事といってもみんな同じではありません。介護を受ける人や介護をする家族に向き合って、それぞれに合ったプランを提案することがとても大事。みんなが笑顔でいられる生き方を、一緒に創り上げていく仕事です。



利用者さんの  
笑顔に励まされ  
ます！



## 誰かを幸せにすることが、自分の どんな仕事があるのか、



### 好きなことに熱中すると みんな輝いてくる!

好きなこと、楽しいことに夢中になると、みんな表情がイキイキとしてきます。一人ひとりの好みや趣味、やってみたいことを聞き出し、それをレクリエーションに組み込んでみる。楽しい時間が増えると、心が元気になってきます。



### 介護職員初任者研修課程 (旧ホームヘルパー2級)

介護職員初任者研修とは、介護施設で働くためや、利用者の自宅に伺い、入浴介助や食事介助、掃除や洗濯などのサービス(訪問介護業務)を提供するために、必要な知識と技術を身につけるための研修制度です。以前のホームヘルパー2級(訪問介護員2級)に相当します。



### 楽しいコトいろいろ 企画しよう!

日々のお世話をするだけが、介護の仕事ではありません。ひな祭りや七夕、クリスマスなど、季節の行事や楽しいイベントを企画するのも仕事の一つ。みんなが笑顔になれる素敵なアイディアを、どんどん形にしてみましょう。



### 介護福祉士

介護福祉士は、国家資格です。医療機関や介護福祉施設、介護が必要な人の自宅などに伺い、生活支援サービスを行います。また生活相談員の役割を担ったり、他の介護職員への指導も行なながら、利用者とその家族が幸せに暮らせるよう支援することが仕事です。

### 介護の仕事

### ケアマネジャー(介護支援専門員)

ケアマネジャーは、介護に関するコーディネートを行う公的資格です。支援を必要とする人やその家族などからの相談に応じて、最適なサービスを利用できるように、総合的なコーディネートやマネジメントを行います。利用者と介護サービスを提供する施設等をつなぐ橋渡し的な役割を担っています。

健 康

## 自分で歩いて暮らせるよう 健康をしっかりサポート。

心身ともに健康なことは、暮らしの基本です。自分の足で歩き、自分で食べることは、ひとに生きるエネルギーを与え、元気にします。少しでも長く自立して暮らせるように、日々の健康をしっかりサポートします。



地域介護

地域で広げる  
介護の輪！



## 地域のみんなで 支え合う介護を！

介護を抱えた家庭は、自分たちで悩みを抱え込み、孤立してしまう場合もあります。自分が働く施設の中だけでなく、同じ仕事に携わる仲間や地域の人たちと協力して、介護を受ける人や家族を見守ります。

# 心を満たす、それが介護の仕事。 ご紹介しましょう！

家族サポート

ご家族の悩みも  
受け止めて！



## あなたが家族の相談役、 一緒に考え一緒に支える！

毎日介護に向き合う家族は、本当に大変です。介護のストレスを抱え込み、疲れきってしまうことも少なくありません。そんな家族に寄り添うのが、介護の仕事に関わる職員たち。家族の相談役として、悩みを聞いたり、励ましたり。一緒にがんばる人がいることが、家族の支えになります。



よりそう  
姿勢が大切！



## イロイロ！

### ソーシャルワーカー

ソーシャルワーカーは、社会福祉の立場から、利用者やその家族の抱えるさまざまな相談に対応し、解決のための援助を行う仕事です。必要に応じてホームヘルパーや介護福祉士などの福祉・医療関係者とも連携しながら、相談者の状況に適したサービスの仲介やアドバイスを行います。

### 理学療法士(PT)・作業療法士(OT)

理学療法士は、座る、立つなどの基本動作ができるように身体の基本的な機能回復をサポートする仕事です。一方、作業療法士は、指を動かす、食事をする、入浴をするなど、日常生活を送る上で必要な機能の回復をサポートします。どちらも利用者の心に寄り添いながら丁寧なリハビリを行います。

### その他

介護に携わる仕事は、まだまだたくさんあります。医療面から支援を行う看護師、心の問題に向き合う精神保健福祉士、食事や健康面を支える管理栄養士、栄養士、調理師、施設運営をサポートする介護事務など、いろいろな専門資格を持った人たちが、介護の現場で働いています。

# 特別養護老人ホーム 遠野長寿の郷

「ここで良かった」と言われるように  
最後まで人生に寄り添う介護を



## 介護福祉士

わ の こ う き  
**和野 浩貴さん**

2016年入職

### PROFILE

1995年生まれ、遠野市出身。遠野市立附馬牛中学校、岩手県立遠野高校を卒業後、盛岡医療福祉専門学校に進学。2016年4月から「特別養護老人ホーム遠野長寿の郷」で介護福祉士として勤務。

# 利用者さんの思いに寄り添いながら、あたたかなサービスを。



職員同士の仲が良いのも「遠野長寿の郷」の魅力。職場はいつも朗らかな雰囲気で笑顔がたえません。

利用者さんをベッドに運び、優しく寝かせる和野さん。力仕事も野球部で鍛えた筋力でカバー。



先輩の指導やアドバイスは、貴重な学び。忘れないようにチェックシートを作って対応しています。



水分補給やトイレ介助、入浴介助など、やることはいっぱい。一つひとつの介助を丁寧に行なうように心がけています。

## 中学生の時から介護の道を志す

「介護の仕事に興味を持ったのは、小学4年生の時。デイサービス施設を訪問した際、お年寄りと話すことが楽しくて、面白い仕事だなと思ったんです」。そう話す和野浩貴さんは、3人兄弟の末っ子。兄と姉も介護福祉士という環境だったため、中学生の時点できめ道を志すことを決めていました。

高校卒業後に選んだ進学先も、兄と姉と同じ盛岡医療福祉専門学校。それまで漠然としか考えていなかった介護福祉士に対する考えが、専門学校で学ぶうちに大きく変わったと和野さんは言います。

## 人生に寄り添うことが介護の意味

「介護の本当の役割は、利用者が幸せな最後を迎えるよう、一人ひとりの人生に寄り添うこと。“この施設で過ごせて良かった”と思ってもらえるように、日々を積み重ねることが大事だと学んだんです」と、和野さん。

専門学校で、介護の奥深さや意義を知り、改めて介護という仕事への思いを再認識。中学時代の職場体験でなじみがあった特別養護老人ホーム『遠野長寿の郷』に就職し、介護福祉士としての一歩を踏み出しました。

「専門学校で2年間学びましたので、ある程度はできるだろうと自信もあった。でも実際の現場は“できない自分”に向き合う日々の連続でした」と振り返ります。

## トライ＆エラーで一歩ずつ前進

笑顔で話しかけながら、お茶を勧めたり、食事の世話をしたりと、いつも優しく利用者さんに接する和野さんですが、就職してから半年間は仕事を覚えることで精一杯でした。

「最初の頃はおむつ交換にも時間がかかり、先輩に手伝ってもらうことが多くて迷惑をかけました…。うまくできない自分が本当に情けなかったですね」と振り返ります。はじめは失敗することが多かったものの、次第に介助の技術は向上。仕事に漏れはないか、自分でチェックシートを作って、ミスが出ないように工夫をしていると言います。

## 誰からも信頼される人間に成長したい

「今は、ひとり通り仕事を覚えた段階。もっと一つひとつの業務スピードを上げることが課題」と話す和野さんですが、日々の支えになっているのは利用者さんの笑顔と「ありがとう」のひと言です。

「他の仕事で言われる“ありがとう”と、介護の仕事で言われる“ありがとう”では重みが違うと思うんです。もっと利用者さんの人柄を理解して、一人ひとりの気持ちに寄り添った介護をすることが目標です」。

持ち前の優しさを生かして、明るく、元気よく。同僚にも利用者さんにも信頼される介護福祉士になるために、和野さんは今日もひたむきに仕事に励んでいます。

# 特別養護老人ホーム 遠野長寿の郷

## 仕事のモットー

いつも笑顔を絶やさず、利用者さんの話をよく聞くようにしています。笑顔で明るく「おはよう」と挨拶したり、「どうしたの？」と話かけると、利用者さんも笑顔で返してくれるんです。自分がイライラしている時でも、その気持ちを仕事に持ち込まないように心がけていますね。

## うれしかったこと

認知症の利用者さんで会話を成り立たない人もいるのですが、たまに問いかけに反応して「ありがとう」とか「おいしかった」と返してくれた時は、通じ合った気持ちになってうれしいです。体格のいい利用者さんには、「重いべ?」と気遣われることも。介助している自分を逆に勞ってくれるなんて、有り難いですね。

## うちの施設の魅力はココ!

職員同士の仲が良く、施設内の雰囲気が明るいのが、うちの最大の魅力です。いろいろな委員会活動もあって、私はレク委員会に入っているのですが、流し素麺やジンギスカン、冬のイルミネーションなど、毎月様々な行事を企画しています。利用者さんも職員もみんなで楽しめるのがいいですね。

## 高校時代にがんばったこと

小・中・高校と、一生懸命に取り組んだのが野球です。高校3年生の時は春の県大会でベスト8に進出。夏は初戦で敗退したのですが、今となってはいい思い出です。

## 休日の過ごし方

夏場は野球をすることもありますが、休日前夜から友だちの家に泊まって、ドライブやショッピングに出かけることが多いかな。ラーメンが好きなのでいろいろなお店を巡って、好みの味を探しています。

## 一日のスケジュール

8:30	起床
10:00	出勤 ○前後の様子の把握、掃除、備用など
10:30	業務 ○多床棟の口腔ケア、体位の入れ替え介助 ○担当ユニットの水分補給、昼食の準備・介助
13:00	昼食・休憩
14:00	業務 ○入浴介助（リフト浴）、ナースコールの対応、おやつの介助 ○夕食介助、おむつ交換など ○一日の記録をタブレットに打ち込み
19:45	退社
20:15	帰宅 ○夕食、入浴、余暇など
24:00	就寝

※日勤の場合のスケジュールです。この他に早番、遅番、夜勤があります。

## 高校生のみなさんにエール!!



介護福祉士は、人と人との関わり合いの中で成り立つ仕事です。いろいろな利用者さんと接するわけですから、コミュニケーションを取るのが難しかったり、大変なことも確かに多い。でも、それ以上にうれしいことにたくさん出会える仕事もあります。高校時代はたくさんの友だちと付き合い、コミュニケーション力を高めておくことが大切。介護だけでなくどんな仕事にも役立つはずです。もし介護に興味があったら、専門学校のオープンキャンパスにぜひ参加してみてください。ちょっとした技術体験もあるので、まず自分でやってみると新たな発見があるかもしれません。まだまだ若手が少ない業界なので、一緒に盛り上げてくれたうれしいです。

MESSAGE

## 先輩からの メッセージ



介護福祉士 **和野 志緒里さん**

この仕事で大切なのは、経験よりも利用者さんに対する気持ちだと思います。他人ではあっても家族のように接することが、利用者さんの心を解きほぐし、受け入れてもらえる関係性をつくるはず。姉として、介護福祉士の先輩として、弟の仕事ぶりを見ていますが、彼は誰にでも優しく面倒見のいいタイプなので、この仕事に向いていると思いますね。今は先輩に教わりながら、仕事を覚えることに一生懸命だと思いますが、経験を積めばスキルは自ずと上達するもの。それよりも彼が本来持っている優しさや素直さを大事にしながら、利用者さんやそのご家族の気持ちに寄り添える介護福祉士になってほしいですね。

MESSAGE

## 施設長からの メッセージ



施設長 **菊池 浩之さん**

介護の仕事というと、大変さばかりがクローズアップされますが、それは本質ではありません。この仕事は、利用者さんの生と死に向き合いながら、多くのことを学び、人として成長できる素晴らしい仕事。和野さんをはじめとした職員たちは、みんなこの仕事が好きで、誇りを持って働いています。また、地域内で介護関係者の勉強会を定期的に開くなど、様々な職種・立場の人たちとの連携を通して、介護スキルを地域に還元する取り組みも行っています。施設内だけではなく、様々な人たちとのつながりの中で、地域全体の介護を考えていく。介護という枠を超えて、地域の人々の幸せを支えることが、私たちの目標です。

## 施設データ



### 社会福祉法人 とおの松寿会

地域の高齢者が安全で快適な生活が送れる環境をつくることを理念に、遠野市内に「遠野長寿の郷」[長寿庵]・[長寿の森]の3拠点を置き、介護相談やデイサービス、特別養護老人ホームの運営まで、幅広い介護サービスを提供しています。どの施設においても、利用者さんの思いに寄り添いながら、あたたかなサービスを提供することが私たちのモットー。高卒で入職した新人職員でも、介護の基本から指導し、定期的にスキルの上達度をチェック。実務経験を3年積んだのち、介護福祉士の資格取得を目指す職員には、仕事と試験勉強の両立を全面的にバックアップしています。

## FACILITY DATA

【設立】2001年2月13日  
【従業員数】182名  
【事業概要】  
遠野長寿の郷  
●特別養護老人ホーム  
要介護3~5認定の高齢者の入所施設。ユニット型個室 64名、従来型多床室 34名。  
●老人短期入所施設（ショートステイ）  
短期入所期間、日常生活全般の介護を提供。従来型個室および多床室 23名。  
●デイサービスセンター  
日帰りで入浴・食事・活動提供・機能訓練等のサービスを提供。一日定員 25名。  
●生活支援ハウス  
一時的な理由により在宅生活が困難となった方のための施設。個室8室、2人部屋1室。  
●居宅介護サポートセンター  
介護保険サービスの利用をケアマネジャーがサポート。

#### 長寿庵

●小規模多機能型介護事業所  
通い・訪問・宿泊のサービスを提供。登録定員 29名。  
●グループホーム  
認知症の高齢者が介護を受けながら共同生活を行う施設。入所定員9名。  
●在宅介護支援センター  
介護に関する相談窓口。

#### 長寿の森

●養護老人ホーム  
生活が困難な 65 歳以上の高齢者が入所できる施設。定員 50 名。  
●ヘルパーステーション  
地域への高齢の他、併設の長寿の森吉祥園にサービスを提供。  
●デイサービスセンター  
日帰りで入浴・食事・活動提供・機能訓練等のサービスを提供。一日定員 35 名

## 求人情報

### 募集職種

【仕事の内容】特別養護老人ホーム、短期入所、デイサービスなどで介護サービス等

【勤務地】遠野市

【学歴・資格等】普通自動車免許（AT 限定可）、介護福祉士の資格等あれば尚可

【勤務時間】1ヶ月単位の変形労働時間制（シフト制）  
※早番・遅番・夜勤の交代勤務あり

【休日】シフト制、有給休暇

【給与】介護職：基本給136,250円（高卒）

【賞与】賞与年2回約3ヶ月、昇級年1回

【加入保険等】雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

【各種手当等】資格手当、夜勤手当、住居手当（上限あり）、交通費支給（上限あり）

【その他】内部・外部研修充実、職員会によるリフレッシュ事業、福利厚生充実

〒 028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩 18-7  
TEL 0198-63-1770 FAX 0198-63-1815  
E-mail hujimutyo@t-chouju.jp

# かなえケアマネステーション

まっすぐ走り続けることだけが正解じゃない、一度距離を置くと見えてくる世界がある



## ケアマネジャー

ながはたひとみ  
**長畠 仁美さん**

2012年入職

## PROFILE

1983年生まれ、遠野市出身。遠野市立土淵中学校、岩手県立遠野緑峰高校を卒業後、東日本社会福祉専門学校に進学。岩手県内の特別養護老人ホーム、養護老人ホーム、居宅介護支援事業所を経て、2012年12月からケア・グラント株式会社に入社。かなえケアマネステーションのケアマネジャーとして勤務。

# 利用者さんとご家族の思いをかなえ、微笑みあふれる毎日を。



一人ひとりの利用者さんに合ったケアプランを考える長畠さん。デスクワークで一日が終わることも多いといいます。

## 人と関わる仕事がしたくて介護の道へ

「実は、さほど強い意志を持ってこの道に入ったわけではないんです」と、前置きをして話し始めた長畠仁美さん。ケアマネジャーとして、仕事と子育てを両立しながらバリバリ働いている姿を見ていると、それは意外な言葉でした。

「人に関わる仕事をしたいと思っていたのですが、選択肢の一つが福祉関係の仕事だったんです」という長畠さんは、介護福祉の専門学校で学んだ後、盛岡市内の特別養護老人ホームに就職して5年間勤務。3交代制の忙しい環境の中で介護技術を身につけたものの、「他の仕事も経験してみたい」と全く畳の違う接客業に転職しました。

## 現場を離れ、介護への思いを再確認

「一年間、接客の仕事に就いてみたのですが、やっぱり介護に携わりたいという思いが強くなつて…」。人の支えになれる喜びや充実感は、他の仕事では得られないもの。そこに気づいた長畠さんは、再び介護福祉士に復帰しました。

新たな職場で求められたのは、介護サービス計画の作成などを担当するケアマネジャーになること。資格を取得したのち、遠野市へ移転した長畠さんは、介護事業所で働き始めます。しかし、ケアマネジャーとしての経験は皆無。悪戦苦闘している最中に出会ったのが、ケア・グラントの唯是光裕社長でした。

## 本音を引き出せず、思い悩む日々

「困っていた私を救ってくれたのは、介護を担う人材を育てたいという社長の言葉。これまでの形に縛られず新しいものを創り出そうとする姿勢に、共感しました」。長畠さんは会社の創立メンバーに加わり、ケアマネジャーの基礎からみっちり指導を受け、実践で仕事を覚えてきました。

しかし、ケアマネジャーは、利用者さんやその家族の要望や暮らし方を把握して、それぞれに合ったケアプランを組み立てていく仕事。家庭によって事情も違う上に、本音を汲み取れず、希望に添ったコーディネートができないなど、うまくやれないジレンマに3年ほど苦しみました。

## 出会いに感謝してベストを尽くす

「一番大事なのは、利用者さんとご家族の思いをしっかりと受け止めること。どうしたら気持ちを汲み取れるのか…悩みましたね」。そんな時期に2人目の子どもの妊娠・出産で、現場を離れた長畠さん。距離を置いたことで考え方整理でき、前よりも客観的に物事を見れるようになったと言います。

「利用者さんは、人生の大先輩。その最後の集大成に関わらせてもらえるなんて、本当にありがたいこと。かけがえのない仕事だと思います」。キャリアを積みながら、いざれば介護の枠を超えて、地域の役に立つ仕事に取り組んでみたい。長畠さんは、介護の先にある新たな目標へと目を向けています。

# かなえケアマネステーション

## 仕事のモットー

利用者さんとそのご家族のお手伝いをさせていただくことは、人生に関わせていただくこと。そのご縁に、「感謝と誠意」を持って向き合いたいと思っています。それと私って、職場でも家庭でもテンションが変わらないタイプなんですが、人に対してもいつも自然体でありたいと思っています。

## 高校時代にがんばったこと

スポーツ少年団の頃から中学までは剣道、高校時代の3年間はソフトボールに打ち込みました。ポジションはサードで打順は4番。社会人になってからはスノーボードなんかも楽しみましたね。

## うれしかったこと

利用者さんのご自宅に訪問した時に「待ってたよ」と迎えていただいたら、「長畠さんで良かった」と言っていた時は、本当にうれしいですね。なかには亡くなるまでお手伝いする場合もあるので、お会いしてお話しする時はできるだけ楽しく過ごしていただきたいと思っています。利用者さんやご家族とお話しして、逆に元気をいただくことが多いんですよ。

## 休日の過ごし方

2人の子どもたちと一緒に、家の周りをお散歩することが多いですね。仕事でストレスを感じることは少ないので、子どもたちと遊んでいると気持ちが癒されますね。

## うちの会社の魅力はココ！

職員の成長をとても大事にしていますし、すごく風通しのいい会社です。経営状況もすべて公開して、今やるべきことやこれからの方針も共有していますので、全員が同じ方向を見て頑張ることができます。社長と職員の関係もオープンですし、職員同士の仲もいい。ここに入つて良かったなと思います。

## 一日のスケジュール

5:00	起床	○朝食の準備、お弁当作り、2人の子どもの保育園への送迎
8:00	出勤	
8:30	業務	○全体朝礼、ケアマネージャーミーティング ○利用者宅への訪問、プランの作成など
12:00	昼食・休憩	
13:00	業務	○利用者宅への訪問、プランの作成など
17:30	退社	
18:30	子どもを保育園に迎えにいき、帰宅	○夕食、入浴など
23:00	就寝	

## 高校生のみなさんにエール！！



どんなことでも、まず踏み出さないと始まりません。頭の中で「やりたい」と思うだけではダメ、やってみることで少しづつ力が身についてきます。ある程度、経験を積まないと理解できないことがあるので、うまくできないからと簡単にあきらめず続けることが大切です。そうすると昔はできなかったことも、いつの間にかクリアできる自分になることができるし、自信もついてきます。また、将来を考えるなら、自分の強みといえるものを作った方がいい。私は介護福祉士という国家資格を取得したので、接客の仕事に就いた時も「ここでダメでも何とかなる」と思って挑戦できました。資格は自分の財産になりますし、何かの時の支えになりますよ。



先輩からの  
メッセージ



ケアマネジャー 佐々木 春美さん

**長 畑さんは、いつも穏やかで誰からも好かれる人柄。利用者さんやそのご家族にも丁寧に対応しているので、信頼が厚いと感じます。入社した時は新人のケアマネジャーでしたが、物事を素直にとらえる姿勢で、いろいろなことを吸収し、確実に成長していますね。今年から研修に参加してコミュニケーション技術を学んでいるのですが、相談援助がこれからの課題。彼女自身も気づいている足りない部分を、実践で習得していくけば、今以上に密な相談援助ができると思います。もっと様々な分野の知識・技術を習得し、何事にも対応できる力を身につけながら、後輩を引っ張っていってほしいと期待しています。**



社長からの  
メッセージ



代表取締役 唯是 光裕さん

介 護という仕事はロボットにはできません。介護を必要とする一人ひとりが微笑んで暮らせるように、知恵を絞り、創意工夫を重ねる。私たちにしかできない、かけがえのない仕事です。当社は、在宅介護支援を中心に介護のトータルサポートを行っていますが、何事もオープンで、楽しく明るい職場。事業計画も経営状況もみんなで共有し、力を合わせて仕事に取り組んでいます。職員同士のコミュニケーションも良く、昼夜のみの時間は高校の教室に負けないくらいにぎやかで、その明るさがより良いサービスにつながっています。常に創造し、チャレンジし続けることが、私たちのモットー。会社の可能性は無限大です。

## 施設データ



【設立】2012年12月

【従業員数】18名

【事業概要】

●かなえケアマネステーション【居宅介護支援事業所】

ケアマネジャーが利用者とその家族の要望を受けて、介護サービス計画（ケアプラン）を作成。介護に関するあらゆる相談に応じ、介護サービスのトータルサポートを行っている。

●かなえケアステーション【訪問入浴介護事業所】

介護スタッフが自宅へ専用の浴槽を持参し、脱衣から入浴後の健康状態のチェックまで、入浴をサポート。希望に応じて、全身浴、部分浴、清拭などのサービスを提供している。

●かなえケアステーション【訪問介護事業所】

訪問介護員（ホームヘルパー）などが自宅に訪問。食事や排泄などの介助を行う「身体介護」、調理や掃除などをを行う「生活援助」など、介護や日常生活上のサポートを行うサービスを提供。

●その他サービス

\*暮らしのサポートサービス（介護保険外）

介護保険制度の対象外となる、生活支援サービスも提供。季節の衣類の入れ替え、窓ふき、安否確認、入退院の準備、入院中の洗濯や買い物支援、同居家族の食事の準備など、様々なサービスを行っている。



## FACILITY DATA

### 社名について

社名のケア・グラントのグラントとは「叶える」という意味。事業所名の「かなえ」も「叶える」から名付けました。

### 求人情報

#### かなえケアマネステーション

介護支援専門員

【採用】4月～

【月収例】160,000円～200,000円

(+資格手当)

【資格】介護支援専門員・普通自動車免許

【勤務時間】8：30～17：30

【休日】土・日（土曜日は交替制）

#### かなえケアステーション

訪問介護員（土・日・祝日も勤務できる方）

【採用】随時

【月収例】140,800円～170,000円

(+資格手当・業務手当)

【資格】介護職員初任者研修もしくはヘルパー2級以上

【勤務時間】8：30～17：30

【休日】週休二日制（シフト制）

※あわせてパート職員も募集しています。

上記の条件は、一般向けであり参考情報となります。  
高校生の方は、お電話にてお問い合わせ下さい。

〒028-0523 岩手県遠野市中央通り8-2

TEL：0198-68-3022 FAX：0198-68-3023

URL：<http://hp.kaipoke.biz/3ah/index.html>

# デイサービスセンター風音

持ち前の明るさと向上心を活かして、  
利用者さんをもっと笑顔にしていきたい



## 介護職員

菅田 柚衣さん  
すがた ゆい  
2016年入職

### PROFILE

1993年生まれ、遠野市出身。遠野市立綾織中学校、岩手県立遠野緑峰高校を卒業後、宮城県内のホテルに就職。遠野市にUターンし、2016年8月から株式会社工房ZEROに入社。綾織町に設立した介護事業部・デイサービスセンター風音に勤務。

# 長く自立して生活できるよう、心と身体の健康を大切に。



利用者さんとコミュニケーションを取る菅田さん。何気ない会話から距離が縮まることが多いと言います。

利用者さんも職員もみんなで体操。少しでも身体を動かす時間をつくるために、体操を日課に入っています。



デイサービスセンターに着いたら、まずチェックするのがその日の体調。体温測定と血压測定を必ず行います。



優しく手洗いの介助をする菅田さん。基本的には、自分でできることはなるべく自分でやらうのが、施設のモットー

## お年寄りと接することが好きだから

「今日の体調はどんな感じだべ?」と柔らかな遠野弁でにこやかに話しかけると、「そだな、まづまづかなあ」とっこりと返す利用者さん。介護職員の菅田柚衣さんが接すると、まるで本当の祖母と孫のような温かな空気が流れます。

2016年の夏、デイサービスセンター風音の開所とともに入職した菅田さんは、ホテル業界から転職。資格も経験もありませんでしたが、新たな世界に挑戦しようと介護の仕事に飛び込みました。「お年寄りと接するのが好きでしたし、妹や従兄弟も介護福祉士をしているので親しみを感じていました」と、きっかけを語ります。

## 失敗を学びとして力に蓄えていく

初めての介護の仕事は、戸惑いの連続。「全くゼロの状態から始めたので、とにかく先輩に付いて回り、仕事を覚えることに必死でした」。風音のスタッフは経験豊富なベテランが多いため、誰もが菅田さんの良きアドバイザー。入浴介助や歩行介助といった技術を、親身に指導してくれました。

「私が戸惑っている時はさりげなくフォローしてくれますし、間違った時は厳しく指導してくれます。指摘されて初めて気づくことが多いので、本当にありがたいですね」。一つひとつ失敗を学びとして着実に蓄えながら、菅田さんは日々の業務に励んでいます。

## 利用者さんとの会話を一番大切に

菅田さんの一日は、利用者さんを自宅まで迎えにいくことから始まります。送迎の時間は、ご家族とコミュニケーションを取れる貴重な機会。できるだけ言葉を交わしながら、利用者さんの様子を把握するようにしています。

「技術的なことは経験を積んでいけば身につくのですが、難しいのが利用者さんの気持ちを汲み取ること。環境も一人ひとり違いますし、生活のリズムも好みも違いますから」と菅田さん。デイサービスの場合、毎日来る人もいれば一週間に1回という人もいて、来所のペースも様々。頻繁に会えない利用者さんほど、会話する時間が大切だと思います。

## 施設で過ごす時間をもっと楽しく

「口べたな人が多いので、いろいろ質問して話を引き出すように心がけています。訛っているとよく言われるんですが、方言のほうが利用者さんとの距離が縮まる気がしますね」。

介護職員としてはまだ経験の浅い菅田さんですが、「ここにいる時はできるだけ楽しく過ごしてもらいたい」と、利用者さんの気持ちを思いやる姿勢は人一倍強い様子。

「それぞれの暮らしの背景を踏まえ、一人ひとりをちゃんと理解して、向き合えるような介護福祉士になりたいんです」と将来の夢を語る、菅田さん。まずは3年間しっかり実務を積み重ね、介護福祉士の国家資格を取ることが目標です。

# デイサービスセンター風音

## 仕事のモットー

まだモットーと言えるものはないのですが、少しでも早く即戦力になれるように介護技術を身につけて、利用者さんの役に立ちたいですね。先輩たちは優しく厳しく指導してくれるので勉強になりますし、教えてもらったことは寝る前に必ず振り返るようにしています。まだまだ危機管理力が低いので、常にその先を考えて行動することが課題だと思っています。

## うれしかったこと

できるだけ親しい関係になれるように目線を同じにして話しかけているのですが、利用者さんからたくさんお話を聞けた時はうれしいです。また、「ありがとう」と言っていただけたり、ご家族との距離が縮まって気さくに話しかけてもらえるようになった時は「やった！」って思います。

## うちの施設の魅力はココ！

風音では、利用者さんのペースを大事にしているので、時間や内容をガチガチに決めたりしません。また、何でも手を貸すのではなく、できるだけ自分の力でやっていただくことで生活力を鍛えているのも、うちの施設の良さ。職員みんなが明るく、職場が楽しいのも魅力だと思います。

## 高校時代にがんばったこと

高校時代はバレー部に所属していましたが、一番楽しかったのは友だちとおしゃべりする時間。人と接することや話すことが好きだったので、今の仕事にもつながっているのかもしれませんね。

## 休日の過ごし方

休みの日は大好きな温泉に行ったり、ドライブに行ったり、いろいろ。仕事でストレスを感じることはあまりないのですが、休日はリフレッシュして、気持ちを切り替えるようにしています。

## 一日のスケジュール

6:30	起 床
8:00	○朝食、身支度
8:15	出 勤 業 務
	○デイサービス利用者宅への送迎
	○体温・血圧測定、入浴介助、レクリエーション介助、昼食介助など
13:00	昼 食 ・ 休憩
14:00	業 務
	○おやつ介助、レクリエーション介助など
	○利用者宅への送迎
	○一日の振り返りを日誌に記録
17:30	退 社
18:00	帰 宅
	○夕食、入浴、テレビなどの余暇
22:00	就 寝

## 高校生のみなさんにエール！！



高校の時は、情報処理のクラスにいたのですが、今振り返るともっと勉強して検定を受けたり、資格を取っておけば良かったという後悔がありますね。パソコンにしても、高校時代に一通り使えるようになっていれば、介護の仕事はもちろん、どの業界のどんな仕事でも役に立ちます。あまり必要性は感じていないかもしれません、今やれることがあったら、どんどんチャレンジしてほしい。どんなことでも無駄なことは一つもないですし、必ず将来のステップアップに役立ちます。高校時代にしかできないことに、精一杯取り組んでみてください。



## 先輩からの メッセージ



介護福祉士 **末崎 浩之さん**

**仕事** 事は常に、学びの連続です。利用者さんやそのご家族に学び、同僚に学ぶ。日常の仕事の中に多くの学びがあり、それに気づけるアンテナを持つことが大事だと思います。菅田さんは、前向きで明るく、素直な人柄。持ち前の明るさで周りの人たちを笑顔にできますし、自分のわからないことはきちんと確認して、自分の力にしようと頑張っています。今はまだ目の前のことでの精一杯だと思うのですが、もう少し「人に見られていること」を意識しながら行動すると、周りの様子が見えてくるようになります。常に向上心を持って取り組んでいますので、この調子で成長していくけば、きっといい介護福祉士になると思いますね。



## 先輩からの メッセージ



生活相談員 **千代川 尚道さん**

**私たち** たちの施設では、高齢者だけでなく、障がい者も障がい児も分け隔てなく、誰もが住み慣れた自宅で暮らすことができるよう支援を行っています。施設は特別な場所ではなく、自宅の延長のように安心してゆったりと過ごせる場所。それぞれの利用者さんのペースを尊重しつつ、みんなで取り組むことも取り混ぜながら、楽しく穏やかに過ごせる工夫をしています。施設を支える職員のスキルアップにも積極的に取り組んでおり、研修参加の際の費用負担はもちろん、勤務体制についても十分に配慮。専門資格を取得して、日々の支援に生かしていくことができるよう、計画的に職員教育を行っていきたいと考えています。

## 施設データ

## FACILITY DATA



[設立] 介護事業部：2016年8月

[従業員数] 13名

[事業概要]

介護事業部：デイサービスセンター風音

介護スタッフが自宅への送迎を行い、センターでは入浴や食事、レクリエーション、リハビリなどのサービスを提供。家庭のようなあたかな雰囲気の中で、心地よく過ごしてもらうことを心がけています。



## 株式会社工房 ZERO

障がいを持つ方々が使用する義肢装具を製作する会社として設立した、株式会社工房 ZERO。2016年4月より【介護事業部】を立ち上げ、同年8月に遠野市綾織町に高齢者・障害者を対象としたデイサービスセンター風音を開所しました。施設内には身体機能を鍛える福祉機器を導入し、長く自立して生活できるようサポート環境を整備。職員の人材育成にも重点を置いており、スキルアップを目指せる環境を整えています。未経験者でも3年間の実務経験を積んだ後、実務者研修を経て介護福祉士の資格を取得することができます。



## 求人情報

[仕事の内容] 小児、障がい者、老人の通所介護支援

(送迎、入浴、排泄、食事の支援)

施設内環境整備 他

[勤務地] 遠野市

[学歴・資格等] 普通自動車免許 (AT 限定可)

あれば尚可

[勤務時間] 一年単位の変形労働時間制

8:30 ~ 17:30

[休日] 週休二日制 (シフト表による)、有給休暇 10日 (6ヶ月経過後)

[給与] 基本給 130,000円

[加入保険等] 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

退職金制度あり (勤続 2 年以上)

[各種手当等] 職務手当、通勤手当

〒028-0531 岩手県遠野市綾織町新里 15-12-1  
TEL : 0198-63-3830 FAX : 0198-63-3831  
URL : <http://kobozero.jimdo.com/>

# 特別養護老人ホーム アミーガはまゆり

介護の仕事を深めていくことが、  
自分自身の成長にもつながっていく



## 介護職員

たむらなるみ  
**田村 成美さん**

2013年入職

### PROFILE

1994年生まれ、山田町出身。岩手県立山田高校を卒業後、社会福祉法人楽水会に就職。2013年4月から特別養護老人ホームアミーガはまゆりの介護職員として勤務。

### 高校生のみなさんにエール!!

勉強することも大事ですが、自分が好きなことにいろいろ挑戦してみてください。たくさん体験することで成長できますし、その中から自分のやりたいことが見えてくるはずです。チャレンジ精神が大事ですよ！

## 介護福祉士

おかみちみのり  
**岡道 美紀さん**

2016年入職

### PROFILE

1994年生まれ、釜石市出身。岩手県立釜石高校を卒業後、岩手県立大学社会福祉学部に進学。2016年4月から社会福祉法人楽水会に就職し、特別養護老人ホームアミーガはまゆりの介護職員として勤務。

### 高校生のみなさんにエール!!

介護という仕事は、人の役に立つことができますし、多くのやり甲斐を感じられる仕事です。人と接するのが好きだったり、お話が好きな人には、ぴったり。ぜひ私たちの仲間になって、一緒に盛り上げてくれませんか。

# 「今日を楽しく、その人らしく」、笑顔あふれる施設づくり。



## [田村 成美さん]

### 人を支えることが一番のやり甲斐

中学生の時、入院した祖父母の世話をした経験から、介護の世界に興味を持った田村成美さん。高校時代は3年間、野球部のマネージャーとして活躍し、「陰から部員を支えることにやり甲斐を感じるようになった」と振り返ります。

高校卒業後は介護職に就くことを決めていた田村さんは、特別養護老人ホーム『アミーガはまゆり』に入職。職員11人で20人の利用者さんをお世話するユニットに所属していますが、寝たきりの人もいれば、自力で歩行できる人もいて、介護レベルは様々。一人ひとりの状況を踏まえ、それぞれに合わせた介護を心がけています。

### 信頼される介護福祉士を目指して

交代制で勤務する『アミーガはまゆり』は、夜勤の場合はユニットを一人で担当。「突然体調を崩されることもあり、とっさの判断が問われることも。看護師さんと連携を取って対応するのですが、緊張します」と田村さん。できるだけ専門知識を吸収するよう日頃から努力を重ねていると言います。

「利用者さんに喜んでもらえるのが、この仕事のやり甲斐。一人ひとりに細やかに気配りをして、利用者さんにもご家族にも信頼される職員になりたいです」。そう話す田村さんは今、資格取得を目指して試験勉強の真っ最中。近い将来、介護福祉士として、さらにキャリアアップする予定です。

## [岡道 美紀さん]

### 利用者さんとのふれ合いを大事に

「中学生の時には介護福祉士を志し、入りたい大学も決めていました」と、一直線に進んできた岡道美紀さん。岩手県立大学の社会福祉学部で学び、卒論では世代間交流をテーマに高齢者と幼児の関わり方を研究しました。

現在、岡道さんは、ショートステイの利用者さんのお世話を担当。「ショートステイを利用される方は、日によって変わりますし、頻度も違います。利用者さん的人柄を理解して、一人ひとりに合った介護をすることが難しい…。少しでも近づきたいと思い、その日いらっしゃる利用者さん全員に声をかけるよう心がけています」と話します。

### 将来は地域の福祉も支えていきたい

短い時間の中で密なコミュニケーションが取れない分、共通の話題で話が盛り上がったり、会話が不自由な利用者が笑顔になってくれた時は、とてもうれしいと言います。

ずっと現場で介護福祉士として働くことが岡道さんの目標ですが、気にかかっているのが生まれ育った箱崎町の福祉環境。「町内にデイサービス施設がないため、わざわざ別の地域の施設に出かけなくてはなりません。いくつか地域のために介護施設が作れたらいいね、と家族で話しているんです」。

もしかしたら10数年後、岡道さんが新たな介護施設を作り、地域のお年寄りの拠り所になっているかもしれません。

# 特別養護老人ホーム アミーガはまゆり

## 仕事のモットー

利用者さん一人ひとりに常に話しかけるように心がけています。長期になると利用者さんの人間関係もいろいろありますから、細やかな気配りが大事ですよね。

## うれしかったこと

利用者さんだけでなく、そのご家族に感謝されることもあるって。しばらくお会いしていない時に「辞めたんじゃないか」と心配してたのよ」と気にかけていただきました。

## うちの施設の魅力はココ!

地域との交流もありますし、行事も盛んです。観桜会や夏祭り、敬老会などの催しがある時は、職員たちが芸を披露することも。いざとなれば歌って踊ります(笑)



## 休日の過ごし方

買い物に出かけることもありますが、疲れをとるためにゴロゴロしていることがほとんど。ストレス発散は、大好きなアーティストのライブに行くことです。

## 一日のスケジュール

6:00	起床
7:30	出勤
8:30	業務 ○入浴介助、トイレ介助、水分補給、昼食介助など
12:00	昼食・休憩
13:00	業務 ○入浴介助、トイレ介助、おやつ、レクリエーションなど ○一日の記録入力
17:30	退社
18:00	帰宅 ○夕食、入浴、テレビ観賞、読書など
0:00	就寝

## 仕事のモットー

日によって利用者の数が違ったり、入浴介助に追われて忙しい日もあるのですが、一日1回以上は利用者さんと会話をするように心がけています。

## うれしかったこと

お会いする頻度が少なくとも、名前と顔を覚えてもらった時はうれしいですね。「この前こうしてくれたよね」と認知症の利用者さんが覚えていてくれた時は感激しました。

## 一日のスケジュール

6:30	起床
7:30	出勤
8:30	業務 ○ショートステイ入所の受け入れ準備 ○持ち物チェック、血圧・体温測定 ○入浴介助、トイレ介助、リハビリ介助、昼食介助、入退去の送迎
12:00	昼食・休憩
13:00	業務 ○入浴介助、トイレ介助、リハビリ介助 ○おやつ、レクリエーション ○入退去の送迎・準備 ○一日の記録を入力、業務日誌への記入
17:30	退社
18:00	帰宅 ○夕食、入浴、テレビ観賞、家族と話すなど
0:00	就寝

## うちの施設の魅力はココ!

幼稚園や小・中学校、市民団体など、地域の人たちとの交流がとても盛んです。利用者さんが参加できるクラブ活動もあって、書道やお化粧を習うこともできるんですよ。

## 休日の過ごし方

ゴロゴロして寝ていることが多いのですが、読書を楽しんだり、絵を描いて過ごすこともあります。最近はまったく小説は山田悠介著作の『リアル鬼ごっこ』と『キリン』です。



先輩からの  
メッセージ



田村さんの先輩 **多田 浩則さん**

**田** 村さんは誰にも優しく接するので、一緒に仕事をしていて安心感があります。自分で吸収したこと、こちらが指導したことは確実に遂行してくれますが、カンファレンスの時などに自分の考えを主体的に話すことが苦手。しっかりした考えを持っているのでもっと積極的に発言し、後輩の指導ができるようスキルアップしてほしいですね。



先輩からの  
メッセージ



岡道さんの先輩 **千代川 智紀さん**

**介** 護の仕事は、様々な「気づき」から学びを得ます。積極的に利用者さんと接することで気づくこと、それを他職員と共有していくことが大切です。岡道さんはいつも優しく穏やかに利用者さんを援助していますが、その反面、積極性に欠ける部分も。自分からどんどんチャレンジして、新たな気づきを自分のものにしてほしいです。



上司からの  
メッセージ



生活介護課長 **及川 隆行さん**

**私** たちの新人教育は、新人職員と年齢が近く経験年数の浅い職員が指導担当者となり、主任がフォローする体制を取っています。年齢が近いと新人職員が相談しやすいですし、指導担当者も教えることで業務の再確認ができます。また、独自の年間カリキュラムを作成し、新人職員の習熟度に合わせて毎年見直しを行っています。



施設長からの  
メッセージ



施設長 **久喜 真さん**

**私** たちは地域に密着しながら、チームケアの実践を通じた介護サービスを提供すると同時に、職員が生き生きと働くよう職場環境の整備に取り組んでいます。介護の仕事は大変と思われがちですが、興味がある方は施設見学にいらしてください。利用者や職員の様子を自分の目で確かめ、肌で感じることで、見方が少し変わらるはずです。

## 施設データ

FACILITY DATA



[開設] 2003 年 7 月 1 日  
 [従業員数] 91 名  
 [事業概要]  
 ●特別養護老人ホーム・アミーガはまゆり  
 著らしの単位を小さく、少人数でなじみの関係を築ける生活環境を提供。全室個室で、10 室（10 名）を 1 ユニットとし、家庭的な雰囲気の中で生活することができる。定員 90 名。  
 ●アミーガはまゆり短期入所生活介護事業所  
 在宅介護で要支援・介護度 1～5 に認定された方が対象。介護をする家族の疾病、冠婚葬祭、旅行などの理由で、一時的に介護が困難になった場合に利用できる。定員 10 名。  
 ●アミーガはまゆりデイサービスセンター  
 在宅介護で要支援・介護度 1～5 に認定された方が対象。自宅への送迎を行っており、センターでは健康チェック、入浴、食事、リハビリ、レクリエーション等、それぞれのケアプランに基づいたサービスを提供。利用定員 25 名  
 ●生活支援ハウス・アミーガはまゆり  
 一人暮らしや夫婦二人暮らし等で、独立して生活することに不安がある高齢者に対し、住居や介護支援を提供。定員 10 名

## 社会福祉法人 楽水会

「今日を楽しく、その人らしく」を理念に、利用者さん一人ひとりに寄り添いながら、笑顔あふれる施設づくりに努めています。その拠点となる『アミーガはまゆり』は、特別養護老人ホームの他、ショートステイ、デイサービス、生活支援ハウスなどのサービスを提供しています。また、「自分を大切にできない人は他人を大切にできない」という考え方のもと、職員が働きやすい職場環境を整備。正社員採用、定時退社の継続、有給休暇等休暇取得の促進、子育て支援、パワハラ・マタハラ・セクハラの防止、介護業務の IT 化等にも取り組んでいます。



## 求人情報

[仕事の内容] 通所介護および特別養護老人ホームでの介護  
 [勤務地] 釜石市  
 [学歴・資格等] 高卒以上  
 [勤務時間] 1ヶ月単位の変形労働時間制（シフト制）  
 　※早番・遅番・夜勤の交代勤務あり  
 [休日] シフト制（年間休日 102 日）、有給休暇  
 [給与] 144,000 円  
 [賞与] 年 2 回各 2.3 ヶ月  
 　（新採用時の 6 月賞与のみ定額一時金）、昇給あり  
 [加入保険等] 雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金等各保険加入  
 [各種手当等] 各種手当あり  
 [研修] 教育研修プログラムに沿った研修実施、他施設職員との交流研修あり

〒 026-0052 岩手県釜石市小佐野町 3 丁目  
 9 番 50 号  
 TEL 0193-25-2600 FAX 0193-25-2605  
 URL <http://amiga.ecnet.jp/index.html>

# グループホーム・小規模多機能ホーム やかた

社会福祉士とケアマネジャーを目指しながら、  
いざなは地域福祉に携わる「福祉のプロ」に



## 介護職員

いしむら かおり  
**石村 香生里さん**  
2016年入職

### PROFILE

1995年生まれ、釜石市出身。釜石市立甲子中学校、岩手県立釜石高校を卒業後、会津大学短期大学部に進学。2016年4月からグループホーム・小規模多機能ホームやかたの介護職員として勤務。

## 利用者の安心と誇りを大切に、家族のようなサポートを。



利用者の自宅へ訪問サービスに出かける石村さん。掃除や食事の準備、身の回りのお世話などもしています。

介護職員の仕事は、利用者の介助だけでなく雑務もいろいろ。一つひとつ丁寧に行うことを心がけています。



利用者の一日の様子をパソコンに打ち込む石村さん。職員全員で情報共有をしながら介助にあたっています。



グループホームもあるため、食事の準備や食事介助も大事な仕事。協力し合ってスムーズに進めています。

### 地域の福祉を支える社会福祉士に

介護の世界には、いろいろな職種があります。ホームヘルパーや介護福祉士は知っている人も多いと思いますが、高齢者・障がい者支援や生活保護、児童福祉など、あらゆる福祉分野の相談役として活躍するのが「社会福祉士」です。

現在、介護職員として働く石村香生里さんが目指しているのが、この社会福祉士。高校時代に地域福祉の大切さを知った石村さんは、包括的に問題解決に関われる社会福祉士という仕事に興味を持ちました。「4年制大学で学べば自動的に受験資格が取れるのですが、現場で経験を積み、仕事を理解した上で挑戦したいと思って、短大に進みました」。

### 現場から、夢の一歩を踏み出す

短大で学んだ場合は、2年間の実務経験を積むことが受験の条件。4年制大学への編入する道もありましたが、石村さんは「やっぱり現場で働きたい」と、釜石市にあるグループホーム・小規模多機能ホーム『やかた』に就職しました。

「いざれは地域福祉に関わることが夢なので、釜石のために頑張りたくてUターン。小規模多機能施設なら、泊まりも通いも訪問もあるので、様々なケースを学ぶことができると考えたんです」。短大では介護福祉士の勉強をしてこなかったため、介護スキルは白紙の状態。まずは仕事を覚えることから、石村さんの介護職員生活が始まりました。

### 介護の技術も正解は一つじゃない

最初の2ヶ月間は、先輩について介護技術を集中的に習得。現在は、施設内での介助を中心に、訪問サービスに伺って食事の準備や身の回りの世話なども受け持っています。

「トイレの介助法ひとつとっても、これが正解と決めつけた指導をするのではなく、他の人のやり方も見るようにとアドバイスされました。いろいろなやり方を学ぶことで、技術の幅が広がるんだと思います」。介護技術の向上はこれからですが、一番難しいと感じているのが利用者さんとの向き合い方。ベテランの職員が担当する時は、利用者の反応がまるで違うと感じています。

### 一つひとつの仕事をもっと丁寧に

利用者との信頼関係を築くには、時間と経験が必要です。その点で石村さんは、まだスタートラインに立ったばかり。できないことは多いのですが、利用者さんの「ありがとう」のひと言や気遣いに触れた時がうれしいと話します。

「お年寄りが大好きなので、この仕事に携われるのは幸せなこと。利用者さんをもっと深く理解して、そのご家族とも関わっていけるように、ケアマネジャーになることが目標です」と石村さん。社会福祉士とケアマネジャー、その両方の資格取得を視野に入れながら、日々、一つひとつの仕事を丁寧に積み重ねています。

# グループホーム・小規模多機能ホーム やかた

## 仕事のモットー

いつも笑顔で接することはもちろんですが、ご高齢の利用者さんもいらっしゃるので、お会いする一回一回を、大事にするようにしています。それと、話し方には気をつけていますね。たまに、意見を通そうと語尾が強くなることがあるみたいなので、高圧的な態度にならないよう注意しています。

## うれしかったこと

利用者の介助に入った時に、私がやりやすいように腰を上げて気遣ってくれたり、「ありがとう」と言われた時は、素直にうれしいですね。短大で学んだことを活かす道として保育士という選択肢もあったのですが、やはり大好きなお年寄りの力になれる介護の仕事を選んで良かったと思います。

## うちの施設の魅力はココ！

家庭的なぬくもりのある空間で、利用者さんに穏やかな時間を過ごしてもらえるのが、うちの施設の良いところ。時間も内容もゆるやかなので、それぞれ好きなように過ごせるのがいいのではないかでしょうか。職員同士の人間関係もとてもいいですし、新人の私にも丁寧に指導してくれます。

## 高校時代にがんばったこと

中学時代は陸上、高校時代は女子サッカー部に所属していました。足が速かったので、ポジションはフォワード。普段の部活動はわりとやるかったんですが、試合の時は全力で挑みました。

## 休日の過ごし方

普段は仕事に集中しているせいか、休日は身体を休めるためにゴロゴロしていることが多いかも。気が向いた時は、短大時代の保育授業で覚えた難易度の高い折り紙に挑戦することもあります。

## 一日のスケジュール

6:30	起床
8:15	出勤
8:30	業務
	○服薬確認、ラジオ体操 ○血圧・体温測定 ○入浴介助、トイレ介助、昼食介助、服薬など ○利用者の昼食後は一緒に片付け・皿洗いなど
13:00	昼食・休憩
14:00	業務
	○入浴介助、おやつ、レクリエーション ○通いの利用者の連絡帳記入 ○掃除の介助 ○一日の記録を入力、業務日誌への記入
17:30	退社
18:00	帰宅
	○夕食、入浴、一日の業務の振り返りなど
22:00	就寝

\*日勤の場合のスケジュールです。この他に早番、遅番、夜勤があります。

## 高校生のみなさんにエール！！



高校時代は自分の範囲を狭めず、いろいろなことに興味を持つことが大切だと思います。難しそうだなどと敬遠しがちな専門書なども、まず挑戦してみる。読んでみるとわからない言葉や疑問がたくさん出てくると思いますが、それを突き詰めてみると新しい世界が広がってくるはずです。介護に興味が持てないという人でも、社会福祉全体でとらえてみると、子どものこと、障がい者のこと、地域のことなど、何かしら興味が持てる入り口が見つかるものです。目の前のことだけで判断したり、今好きなことだけで決めつけずに、違う角度から見てみると考え方方が変わりますよ。

MESSAGE

## 先輩からの メッセージ



副主任 久保 久美子さん

**石** 村さんは、いつも笑顔で話題が豊富、周りを飽きさせないサービス精神にあふれた人。まだ新人ということもあり慣れないことばかりだと思いますが、何事にも「本当にこれでいいのか?」と疑問を持ち、最後まで責任を持って業務に取り組む姿勢には好感が持てます。その反面、自分の信念が強すぎるせいか、先輩の話や違う意見を聞けない時もあるので、素直に受け入れられるようになると、もっと成長できるはず。とにかく経験を積むことが第一なので、わからないことがあればすぐに質問し、どんな仕事にもフラットに向き合って、積極的行動していくことが大切だと思います。

MESSAGE

## 施設長からの メッセージ



施設長 松田 宇喜善さん

介護は3Kと誤解している人がいるようですが、決してそうではありません。私たちの仕事は、介護が必要となつたお年寄りが、住み慣れた地域で安心して暮らしていくように支援すること。介護だけでなく、お年寄りが自分らしく人生を送っていただけるようなサポートを何よりも大切にしています。当社のスタッフもみな、人の役に立つことにやり甲斐を感じ、誇りを持って仕事をしている人ばかり。石村さんも同様に、何でも前向きに吸収しようと頑張っています。資格がなくても、挑戦してみてください。ここには、介護福祉士や社会福祉士、ケアマネジャーの資格を取得し、「福祉のプロ」を目指せる道が広がっています。

## 施設データ



【設立】2011年9月

【従業員数】16名

【事業概要】

●グループホーム「やかた」

少人数制のゆったりとした家庭的な環境で暮らせる、グループホーム。住み慣れた地域の中で、一人ひとりに合った豊かな暮らしを提供できるよう、職員がサポートしている。入所定員9名。

●小規模多機能型ホーム「やかた」

通い・泊まり・訪問の3種類のサービスを、利用者や家族の状況にあわせ、自由に組み合わせができる柔軟なサービスを提供。在宅生活を基本として、社会の役割や地域住民との関係を維持・継続できるよう支援している。

【通い】利用者や家族の都合に合わせ、その日の予定で帰宅時間を延長したり、そのまま宿泊することも可能。食事、入浴だけの利用もできる。

【泊まり】冠婚葬祭や入院など、家族の急用時にも対応。

【訪問】安否確認、体調管理（血圧測定、服薬確認）、通院介助、掃除、洗濯、食事の支援などのサービスを提供している。

## FACILITY DATA

### 求人情報

【仕事の内容】グループホーム、小規模多機能居宅  
介護施設内での介護

【勤務地】金石市

【学歴・資格等】高卒以上、普通自動車免許（AT限可）、介護福祉士「介護」

【勤務時間】一ヶ月単位の変形労働時間制  
(シフト制)  
※早番・遅番・夜勤の交代勤務あり

① 8:30 ~ 17:30

② 7:00 ~ 16:00

③ 10:00 ~ 19:00

【休日】週休二日制、有給休暇10日

【給与】介護福祉士 142,700円~157,000円  
介護員 125,000円~142,000円

【賞与】年2回（3ヶ月分）、昇給あり

【加入保険等】雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金等各保険加入

【各種手当等】通勤手当、夜勤手当など



## コンフォートライフ合同会社

住み慣れた地域で『安心と尊厳のある』生活支援を目指す当社では、少人数制のグループホーム「やかた」と、通い・泊まり・訪問の3種類のサービスを提供する小規模多機能型ホーム「やかた」を運営しています。2階建ての施設に2つのホームが同居していますが、共通しているのは家庭的であたたかな環境。自宅のような広い大雰囲気で、職員が家族のようにサポートしています。人材育成にも力を入れており、新人職員研修や外部研修への参加を始めとした、OFF-JTが充実。資格取得に向けた情報提供や、キャリアパス制度も導入し、職員の成長を後押ししています。

〒026-0024 岩手県金石市大町3-9-16  
TEL 0193-31-3301 FAX 0193-31-3302  
e-mail / yakata.home@image.ocn.ne.jp

働くって  
うれしい

働くって  
すばらしい

働くって  
幸せになること

働くって  
かっこいい

働くって  
嬉しい

# 介護の魅力発信事業

特別養護老人ホーム 遠野長寿の郷／社会福祉法人とおの松寿会

かなえケアマネステーション／ケア・グラント株式会社

デイサービスセンター風音／株式会社工房ZERO

特別養護老人ホーム アミーガはまゆり／社会福祉法人 楽水会

グループホーム・小規模多機能ホーム やかた／コンフォートライフ合同会社

(※掲載順)

[編集・発行] 職業訓練法人 遠野職業訓練協会

このパンフレットはホームページよりダウンロードいただけます ▶ URL <http://www.tono-vts.ac.jp/>

遠野高等職業訓練校は、「働く人」「働きたい人」を応援します。

働く人への支援の専門家「国家資格キャリア・コンサルタント」常駐施設

## 遠野高等職業訓練校

(運営管理:職業訓練法人 遠野職業訓練協会)

遠野高等職業訓練校では、職業人となってから、選択した職業に合わせた能力開発研修・技能向上研修等により、「一人一人が働き続ける力」を身に付ける多様な支援をしています。

- 新入社員研修
- 管理者・リーダー育成研修(マネジメント・財務分析・人事考課等)
- 管理者資格取得研修(職長教育・第一種第二種衛生管理者)
- 若手リーダー育成研修
- キャリア開発研修
- ビジネスマナー研修
- コミュニケーショントレーニング研修  
(アサーション・傾聴・ファシリテーション等)
- 介護職員初任者研修課程・居宅介護初任者研修課程資格取得研修
- 新人介護職員技能向上研修  
(移乗介助技術・整容介助技術・排泄介助技術・認知症支援者介助技術等)
- 新人介護職員教育担当者向け 介護技術指導者研修

\*その他にも、それぞれの組織に合わせた研修計画立案、研修実施運営、組織コンサルティング、人材コンサルティング、キャリア開発支援等にお応えします。

お問い合わせ先

職業訓練法人 遠野職業訓練協会 TEL.0198-62-6310

〒028-0502 岩手県遠野市青笹町中沢8-1-8 FAX.0198-62-6366 [Mail][info-tonovts@tono-vts.ac.jp](mailto:info-tonovts@tono-vts.ac.jp)

[研修情報はホームページで随時発信しています。] ▶ URL <http://www.tono-vts.ac.jp/> 遠野 訓練 検索

\*離職し、再就職を支援する岩手県委託の訓練も開催しています。働くことに困ったことがありましたら、遠野職業訓練協会までお問い合わせください。